

AGOYA GAKUIN UNIVERSITY

名古屋学院大学同窓会会報

名古屋学院大学同窓会事務局発行
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階 TEL 052-242-6444

第10号
('99.10)

第9回 ホームカミングデーの御案内

名古屋学院大学同窓会

HOME COMING DAY

ホームカミングデーとは

本大学卒業生のOB・OGとその家族、そして教職員が、NGUファミリーという大きな輪を広げることを目的に、年に一度キャンパスに集いコミュニケーションを深めるイベントのことです。



恒例となりました同窓会の最大の事業でありますホームカミングデーを、今年も11月3日(水)に開催させて頂きます。

日時 11月3日(水)午後12時より14時まで
場所 名古屋学院大学「思星館」(第2食堂)
(チャペル前の建物です) 参加費無料



回を重ねることに参加者も増え、
また、当口は大学祭期間中でもあり
キャンバスは大変賑わっています。昨年
は、ホームカミングデーにかわり、10月
17日(土)に名古屋ヒルトンホテルにお
いて、同窓会30周年記念事業を開催
したところ、大学の理事、評議員、敬
愛同窓会の役員の方々や教職員、
400名を越える同窓会員など多
数の参加者があり、盛大に旧交を温
めていただきました。今年は是非あ
なたも御家族と一緒に参加してみま
せんか、もちろん無料です。
当日はOBによるカントリーミュ
ージックの生演奏を行います。また、入
試相談コーナーも設けました。より
大きく発展した大学を見つつ大いに
交流を深め、楽しい時を過ごしますよ
う。多数のご参加を心より願っています。

主な行事

31日

●学生演奏会

中村好江(プロトランペッター・本学学生)他
10月31日(日) 10:00~

●シネマ

「ウィズアウト・ユー」
10月31日(日) 13:00~
栄光館

●コンサート

八反安未果・森ひろこ
10月31日(日) 17:30~

1日 ● 2日

●学内スポーツ大会

11月1日(月)~2日(火) 10:30~

3日

●トークライブ

中島礼香・鈴川なおみ
ギブ&テイク(テイク白川、トカ山田)
11月3日(祝) 15:30~

●後夜祭

11月3日(祝) 17:00~

名学大祭 初体験 の案内

期間 10月30日(土)~11月3日(祝)



今年も名学大祭の季節がやってきました。5日間と日程も増えた今年のメインテーマは「初体験」。

10月30日(土)のオープニングを皮切りに、31日(日)は本学在学生のプロトランペッター、中村好江さんによる演奏会、八反安未果・森ひろこさんによるコンサートを予定。11月1日(月)・2日(火)は学内スポーツ大会。3日(祝)には中島礼香・鈴川なおみ及びギブ&テイク(テイク白川、トカ山田)さんによる楽しいトークライブ

が繰り広げられる予定です。

名学大祭は、幅広い年齢層の方々に楽しんでもらおうと考えています。「初体験」の名学大祭にどうかご期待を。みなさんのご来場をお待ちしております。

ご挨拶



同窓会会長
占部憲一

紅葉の季節となり、同窓生の皆様におかれましては、ますますお元気でご活躍のことと推察いたします。

母校、名古屋学院大学は、経済学部、商学部、外国語学部の三学部に加え、大学院を二年前に開設し、ますます充実した体制となつてまいりました。特に中口ビルさかえサテライトで開かれております社会人のための大学院は、好評で、さまざまなマスコミにも取り上げられております。

同窓会も一万八千名を越える会となり、昨年10月17日に名古屋ヒルトンホテルにおきまして、第一期生が卒業して30年が経過したことを記念し、30周年記念事業を開催しましたところ、大学の教員、職員の皆様を始め、大学の理事、評議員、敬愛同窓会の役員にもご出席を賜り400名を越える同窓会員にご出席をいただきました。

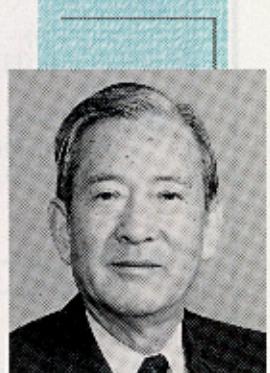
本年は、従来通り大学祭の時期に大学において、ホームカミングデーと銘打ち、懇親会を開催させていただきます。

楽しい会にしたいと思いますので、家族そろつてご参加賜りたいと存じます。

本年度も同窓会の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



理事長
内山道明



学長
佐藤自郎

名古屋学院大学同窓生のみなさまが各界でますますのご活躍、心からお喜び申し上げます。また、日頃同窓会の運営に当たられておられます会長をはじめとして役員のみなさまのご努力に敬意を表します。

昨年は同窓会30周年記念事業のうち講演会ならびに懇親会が多く同窓生の出席のもと盛大に開催され、同窓会の発展ぶりを目の当たりに感じて心強く思いました。

その折りにもご報告させていただきましたが、本学も35年の歴史を重ねて、今日では大学院2研究科、3学部4学科と、さらに来年4月には経済学部に政策学科が開設され5学科となり、学生数5000名の、いまや中部圏における優良中堅大学として位置づけられるようになつてまいりました。

しかしながら、昨今の教育環境は私学にとって、きびしさを増しており、経営努力ならびに教育充実政策を教職員あげてはかつてないところですが、同窓生のみなさまによる力強いご支援も不可欠のものとなってきております。同窓生のみなさまより結びつきを深めるため、同窓会オフィスの「さかえサテライト」開設を始めとして大学の動きを適宜お知らせするなど身近に大学を知つていただく努力もしております。また、瀬戸キャンパスも各施設が整備され、ここ10数年で大きく変わっています。

大学祭期間中に開催されますホームカミングデーには是非とも家族そろつてご参加いただき、同窓生・在学生そして教職員が一同に会し、新たに名古屋学院大学アミラーの連帯感高揚の場としていただきたいと思います。

爽やかな季節となりました。同窓生の皆様には益々お元気に各方面においてご活躍のご様子、心からお喜び申し上げます。本学も第1回の卒業生が社会に出られてから、30余年となりました。この間における卒業生の皆様のみならぬご努力の結果が社会における今日の名古屋学院大学の評価を高めていただいたものと、深く感謝申し上げます。同窓生としていただいた権も立派に根づき、学生たちに想の縁蔭を提供してくれています。10年後のさらに成長した並木に想う学生たちの姿を思い、改めて心から御礼申し上げます。

大学は本年4月に大学院経済経営研究科に経営政策専攻の(博上課程)が開設され、予定しております大学院の計画は必完了致しました。また懸案でありました経済学部の政策学科設置が7月末に認可されまして、来春より新しい学生を受け入れる準備を進めております。

ご承知のとおり、現今社会情勢のもとでの学生諸君の厳しい就職状況を考えるとき、本当に社会が求めている人間を育成することの重要性を以前にも増して痛感し、日々努力しているところであります。単なる表面的な知識、技能の習得のみならず、それを将来予想される様々な局面において活かすことのできる応用力、創造力を備えた人間の育成を目指し、建学の精神に基づく豊かな人格と専門知識を備えた学生を社会に送り出そうと心がけております。そのためには2000年からは新しいカリキュラムを編成しました。

また新たに卒業する学生諸君にとって、社会で一番身近で、頼りになるのは先輩、同窓生の皆さんです。後輩のため暖かいご助言、ご指導をお願い申し上げます、最後に、同窓会の益々の発展を祈念して、ご挨拶と致します。

メディアも注目!

ユニークAO入試

一般入試のほかに、来年度から実施

ユニークAO入試

体验授業で合否を判定

授業に意欲のない学生が増えていること、少子化による受験人口が減少があげられます。

AO入試を導入した背景には、年々、

AO入試を実施しますが、その方法がユニーク。今年の夏休みに1日間の体验授業を行い、生徒の意欲や理解力をみて、事实上合否を決める、という全国で初の試みとして、他大学、各メディアもその成果に注目しています。

中日新聞朝刊より

AO入試を導入した背景には、年々、
授業に意欲のない学生が増えていること、
少子化による受験人口が減少があげられ
ます。

AO入試を導入した背景には、年々、
授業に意欲のない学生が増えていること、
少子化による受験人口が減少があげられ
ます。

AO入試を導入した背景には、年々、
授業に意欲のない学生が増えていること、
少子化による受験人口が減少があげられ
ます。

AO入試を導入した背景には、年々、
授業に意欲のない学生が増えていること、
少子化による受験人口が減少があげられ
ます。

「一発勝負の入試ではなく、面接や高校の学業成績などを総合的に判断して合否を決めるアドミッション・オフィス(AO)入試を導入する大学が増えています。名古屋学院大学も今年度入試から、一般人試のほかにAO入試を実施しますが、その方法がユニーク。今年の夏休みに1日間の体验授業を行って、生徒の意欲や理解力をみて、事实上合否を決める、という全国で初の試みとして、他大学、各メディアもその成果に注目しています。

ます。

一般入試のようにペーパーテストだけでなく、学生の人物や意欲などをいねいに評価するため、この方法を採用しました。

大学独自で過去の入学者を追跡調査したところ、一般入試で入学した学生より推薦入試で入学した学生の方が、単位の取得状況、出席率、成績とともに、かなりの差が出ています。

今回のAO入試では、成績証明書も内申書も推薦書も必要なく、申し込み際に受験動機などを書いて提出するだけ、受験料も無料となっています。

就職協定が廃止されて以来、早期化・長期化・多様化・少人数選の流れのなか、採用活動が行われています。

経済環境は極めて悪く、景気低迷に伴い、採用人員の下方修正を行う企業が続出していますが、他社に先んじてより質の高い学生を採用したいという思いから、早期に採用活動を行う企業、景気をにらみながら採用活動を行う企業の二極化現象をおこしています。

いずれにしても、採用人員縮小により質の絞り込み、つまり少人数選を実行する学生にとっては厳しい就職戦線となっています。以下、今年度の特徴的なことを報告させていただきます。

第1に早期化です。今年度は2月から合同企業展が開催され、3月には各企業小白のセミナー・説明会がめじろ押しとなり、ビーカーを迎えるようになりました。この企業の採用活動は昨年と比べますと、2週間前倒しです。また、一部の企業では4月から内定出しが始まり、今年度Xでは5月連休明けだとされています。(昨年より2週間前倒しです)

第2に長期化です。夏あるいは秋以降の景気を睨んで採用活動を行うケースの他に、春・秋採用、通年採用の企業が出てきており、採用窓口が常に開かれている。というイメージを強く与えています。(実際には第1で述べました通り短期決戦です。秋採用・通年採用は、確かに新卒も対象にしていますが、メインはキャリア紹介です。長期化と言います)

第3に多様化です。各企業により採用・選考方法が異なってきました。ざきほどの春・秋・通年採用これも採用の多様化です。また、ボーダレス採用(国籍・性別・年齢を問わない)、インターネットによる採用・大学名不問、論作文の事前提出、エントリーシート集団面接、集団討議、プレゼンテーション形面接、ディベート面接等を実施する企業が増加しました。(まさに採用の多様化・選考の多様化です)

第4に質の競争です。今人採用すれば、生涯賃金が3億かかると言われています。量より質の時代です。採用人数の縮小により質の絞り込みが徹底され、採用基準を下げる事はしなかった。(今年6月に発表された「人求人初の0.99倍」つまり大学を卒業する学生に対する企業の求人倍率が初めて1.00倍を割り込んだ)という背景も大きな要因となっています。以上が今年度の特徴です。

経済環境は極めて厳しく、新卒者採用の抑制もまた結構と予想されます。社会で活躍の同窓生には、何卒後輩への温かいアドバイス、支援を賜りますようお願い申し上げます。

1999年度

早期化・長期化・多様化する就職戦線

活躍する同窓生

今回は名古屋学院大学の広報誌「コズモラマ」で取り上げられた
同窓生の記事を抜粋致しました。

“自分の手で立ち上げ、盛り上げていこう”と決意

田川飛鳥さん（1992年経済学部経済学科卒）

新会社アリーニティケーブルテレビに就職した田川飛鳥さんに、在学生の元井理奈さんがインタビューしました。

—この仕事に就いたきさつは

大学時代、大学祭実行委員会という団体に所属していたことが、そもそもものきっかけです。大学祭でのステージなど二つのものを多くの仲間たちと一緒に見て創り上げた時の喜びや感動を何度か味わうことによって、「将来は、このような何かを創り上げる仕事がしたい」と思うようになりました。

いくつかの内定が出たなかで最後まで悩みました。何かを創り上げ、やりがいのある仕事がしたい。新しく就職するんだから、新しいことをやりたい! これから会社とすることであるなら、自分の手で立ち上げ、盛り上げていこう」と決意し、この仕事に就いたわけです。

—大変なことは

「応『マスコミ業界』ということもある、華やかな世界に見られがちですが、実際のところは『肉体労働』です。この世界に男性・女性の区別はないですかね。米俵10kgにもなるカメラや三脚などを担いで、あちこち取材に飛び回っています。例えばマラソン大会の取材などは、カメラを担いで選手と一緒にスタートして、走る選手より先にゴールで待っているなくてはならないので、けつこう体力にこだえますね。

—活躍ぶりは

「カメラを担いであちこち取材に飛び回り、その取材データをもとにスタイルでTV収録。その後で編集と、通りのことをすべて一人でやっています。



たがわ あすか

●プロフィール
グリーンシティケーブル
テレビ株式会社勤務。1
年間営業部に在籍し、放
送部へ。自主制作チャン
ネルである「そらまめ23」
でキャスター・カメラ・編集
を担当する。郵政大臣認定第2級有線テレビジョン
放送技術者。

—大学時代を振り返つて
大学（イコール）大学祭ですね。大学祭で個性あふれる多くの仲間と知り合い、楽しい時間を過ごすことができました。また、大学祭でのステージなど、二つのものをみんな一緒に見て創り上げた時の喜びや感動を何度も味わうことにより、私の生活の中で、なくてはならないものになりました。今は、忙しくて、あまり会えませんが、時間を見つけては仲間と会ったりして遊んでいます。私の心の支えになっていた大切な仲間たちです。

—これからの夢は

開局して5年がたち、今では街でみなさん「いつも見てるよ」と声をかけられるようになりました。だからこれからもずっと視聴者のみなさんに喜んでもらえるようい番組を創りたいですね。今、大がかりなドキュメンタリー番組を制作しているのですが、「大会優勝めざしてがんばっている地元の消防団」の様子を約一年にわたって追跡取材しています。その間、一ヶ月一度のペースで短い番組として放送しているんですが、最終的にそれをすべて編集して一本の番組にし、年に何度も開催される番組制作コンテストにチャレンジしたいと思っています。そういう大きな場で自分の番組が認めてもうらうことです。それが今一番の夢ですね。（1998年 51号より抜粋）

本年3月、父母会の卒業記念事業ならびに同窓会の設立30周年記念事業として、大学への寄付という形でキャンパスのメインストリートに花壇が新設されました。



キャンパスメイン
ストリートの桜（けやき）

その後、田川さんは番組を完成され、コンテストに応募見事に奨励賞を受賞されました!!

キャンバスでの楽しい語らいの場となるものと思います。



「ゆめの実現」

— どうとうやつたプロゴルファーへ、夢の実現 —

近藤年弘さん(1980年 経済学部 経済学科卒)

— この度は、プロテスト合格おめでとうございます。合格を決めた瞬間のお気持ちいかがでしたか。

当時は比較的落ちていたプレーができていただけではないかと思います。最終ホールのパッティングを終えた瞬間に家族の顔が頭の中を通り抜けていきました。

周囲の「おめでとう」の声にも矢が抜けてしまったような感じだったのですが、家族に電話で報告した際、女房の泣き声を聞いたところ、「ぐつぐつ泣いてきましたね。

— プロゴルファーになろうと思つたのはいつごろからでしょうか。また、その動機はどのようなものでしたか。

クラブを初めて握ったのは、小学生のときでしたね。叔母が女子プロゴルファーでしたので、その叔母にレッスンを受けていました。また、地元近くのコースで「中日クラブ」や「東海クラブ」などのピックタイトルを周辺に見ていましたので、本物のプロのプレーには少年時代から心が躍らされましたね。その時の強いイメージがプロの道を極り立たたでしてうか。

— 葉では離れて回年と言いますが、この世界では、失礼ながら長年に渡つてチャレンジし続けるゴルファーはいつしやるのでしょうか。

今回の合格者のなかでは、私が最年長17回目の挑戦での合格ということになります。したが、プロテストを受けている人の中では20回以上という方もいらっしゃいますね。苦労したというよりは、やはりゴルフが好きで続けてきたという感じでしょうか。

ちょうど28歳の時でようかたな30回のバーバットをはずしたことから、パラグ

に陥り、結果不合格となってしまったことが忘れられない記憶として残っています。でもその経験が、プロへの強い思いを支えてきたのかも知れません。

— このように頑張ってられた近藤さんを支えてきた生き方を教えていただけますか。

自分的人生は、他の誰でもない自分自身のものだから、後悔だけはしないよう、木當になりたい自分をめざして努力は惜しまないよう、とは思つきましたね。

— どのように頑張つてられた近藤さんを支えてきた生き方を教えていただけますか。

私は大学生活はゴルフを抜きには語れないものでした。それでもきちんと大学を卒業することができたのは、良くも悪くも当時の大学には学生に対する包容力があったからではないかという気がします。

今の時代にそれをそのまま当へはめることは難しいことだと思います。しかししながら、個々の学生の小さな可能性の芽を決して摘み取らず、できる限り長所を伸ばしてあけられるような環境作りをしてあげてほしいですね。

— 本日はありがとうございました。今後のご活躍を楽しみにしています。

(1999年 54号より抜粋)

★皆様のお知り合いの同窓生の中でもこんな方を同窓会会報に紹介したい
という方がいらっしゃれば、専欄局までご連絡下さい



こんどう としひろ

●プロフィール

入学と同時にゴルフ部に入部し、ゴルフ部の奉仕づくりに貢献。1999年プロゴルフトーク合格。現在、苦労をかけた奥さまと2人の子どもに恵まれて名古屋市天白区に在住。

優秀成績クラブ 同窓会より表彰

学生支援の一環として、大学同窓会ホームページカミングティーにおいて優秀クラブの表彰を行っていますが、昨年は同窓会記念事業のため延期されました。この程、左記のクラブを1998年度優秀クラブとして表彰しました。各部会長から各クラブの主将に目録を授与しました。

表彰クラブ

アーチェリー部	ソフトテニス部
ゴルフ部	ハンドボール部
水泳部	馬術部
スキーパー	ラグビー部

なお、表彰状のはか同窓会支援金としてスキー部に100,000円、ほか7クラブに50,000円が授与さ



21世紀に向かつて新学科 「政策学科」2000年4月開設

進路に応じた4つのコース

学修目標や進路に応じた履修モデルとして4つのコースを設けています。学生は、自分で選択したコースに沿って、自由にかつ体系的に「政策」についての実践的で、専門的な知識と能力を身につけます。

経済学部のなかの政策学科

政策学科は、経済に関する基礎的な専門知識と政策に関するより高度で、実践的な知識や能力を合わせ、もちかく「実践的で、問題解決型の能力をもつた人材」を育成することを目的として設置されました。そのため、政策学科は、従来の経済系あるいは政策系の学部・学科と比べて次のような特色をもっています。

①専門基礎科目の厳選と関連科目の充実

導入教育や基礎教育を重視し、しかも、経済と政策の両分野にかかる専門的知識を教授するために、経済基礎科目を厳選し、また、「政策」をキーワードとした関連分野を迅速基礎科目に配置しています。

②経済学と法律行政分野による体系的なカリキュラム編成

両分野によって関連基礎科目の一部と学科基幹科目が構成されています。

③充実した政策関連分野によるカリキュラムの学際化

経済社会システム、環境資源、産業技術、都市・地域、社会政策、文化・価値そして政策科学・政策過程など、「政策」に関する多様な科目を配置しています。

生涯学習が叫ばれる昨今、社会人を対象とした本学の社会への貢献を一層推進すべく開設された本学エクステンションセンターは、2年目を迎えます。充実したものとなっていました。

今年の講座は、文化・環境・国際・コミュニケーション特別講座で、全講座修了者は修了証が授与されます。卒業生のみなさまにおかれましても、生涯教育の一環として是非とも「シティーカレッジ」にお誘い合わせの上ご参加をお待ちしております。

開催場所

名古屋学院大学さかえサテライト他
TEL 052-242-5300
FAX 052-242-5341

お申し込みとお問い合わせ

名古屋学院大学エクステンションセンター
TEL 052-142-11096
FAX 0561-42-1097

申込期限

各講座の開講1週間前

募集人員

各講座案内をご覧ください。原則として先着順に受け付け、定員に達した時点で締め切ります。
(各講座案内より希望の方は名古屋学院大学エクステンションセンターまでご連絡ください。)

受講料

将来、公務員や公共機関への就職をめざす人のための特別コース

登録料

登録料(1,000円)をお支払いいただければ、今後の講座案内が送られます。(希望の方のみ)

修了証について

各講座全回を受講された方には修了証が授与されます。

同窓生の皆さまへ 「名古屋学院大学シティーカレッジ1999」へのお誘い

2年目を迎えたシティーカレッジ1999

社会への貢献を一層推進すべく開設された本学エクステンションセンターは、2年目を迎えます。充実したものとなっていました。

●講座内容●

文化講座

イギリスの演劇～シェークスピアを中心には
「対談」陶芸を語る

環境講座

自然と人間
～地球の未来を考える～

コミュニケーション講座

英語で万博(初級コース)
— "Let's speak in English" —

英語で万博(中級コース)
— "Welcome in English" —

国際講座

アメリカ精神の核心にせまる
— キング牧師の生涯と思想 —

特別講座

日本再発見
今、日本人にとって欧米文明とは
— キリスト教的理解入門 —

日本再発見
なぜ日本人は中国人を誤解するか

中欧ポーランドの歴史と文化
— シンボジウムと音楽の夕べ —

産業科学研究所

万博プロジェクト研究について

名古屋学院大学 EXPO 2005
プロジェクト研究の紹介

趣旨と目的

1997年6月、博覧会国際事務局(BIE)総会において、2005年に名古屋市東部・愛知県瀬戸市を主会場とする国際博覧会「愛知万博」が開催されることが認定されました。この数年、とりわけ万博開催が会場候補地(「海上の森」)の自然環境の破壊につながるかどうかをめぐる賛否両論が繰り広げられ、また開催決定後も環境アセスメント、会場地の分散化、会場アクセスと交通基盤整備、および開催費用財政負担と経済効果のバランスなど、さまざまな問題が論議され、注目されています。今後、この「愛知万博」がどのような方向で展開するか、依然不確かな部分もありますが、ともかくこれによつて、この瀬戸市を中心とした地域周辺の21世紀に向けた地域づくりがこの万博開催を通じて展開することにならなければ確かだと思います。

これは、この瀬戸市を中心とする地域周辺に、きわめて大きく多様な効果をもたらすものと考えられます。そこで、われわれは、EXPO 2005がこの地域周辺にできるだけ多くのプラス効果をもたらすようその展開を見守り、するために、このプロジェクト研究を企画し、1998年4月より研究調査活動を開始しました。

基本テーマ

「愛知万博が地域へ及ぼす効果」の大きさや広がりおよびその問題性を勘案し、さらに参加メンバーのあいだにおける問題関心や研究方法の多様性に配慮して、以下にかかる4つのテーマを柱にし、それぞれを有機的に関連づけることによってプロジェクト研究全体を推進することとしています。

- ①万博の基本構想と「自然との共生」
- ②瀬戸市周辺の地域振興と地域開発
- ③中部圏および愛知県・瀬戸市周辺の産業および地域経済への波及効果
- ④地場産業(陶磁器産業)と瀬戸の産業文化の活性化

基本プラン

本プロジェクト研究では、2005年の開催に向け、4つの段階を通して研究、調査活動や政策提言を推進していくと考えています。

まず第1段階であった1998年度には、研究のための体制づくりをおこなうとともに、基礎的な調査研究や研究会の開催を進めています。ことに、11月に開催したシンポジウム「地域の経済社会と愛知万博開催効果と地域発展のあり方をめぐつて」は大きな反響を呼びました。詳しくは、1998年度の研究成果報告書をご覧ください。

第2段階(1999年度~2003年度)では、博覧会事業の進行にあわせて具体的な調査研究活動を推進し、研究成果の公表と積極的な政策提言を展開する予定です。第3段階(2004年度~2005年度)では、博覧会の開催や運営への参画も考えております。そして、第4段階(2006年)では、博覧会開催後の地域発展を視野に入れて開催効果を総合評価し、さらにこの地域周辺の自然、文化、社会および経済に関する総合的研究の促進につなげていく予定です。



名古屋学院大学「教育振興資金」募金にご協力を

会員各位には、益々ご隆昌のこととお慶び申しあげます。

この度、名古屋学院大学から本同窓会に対して、「教育振興資金」の募金活動について協力依頼がございました。今回の募金の趣旨は同封されています「募金趣意書」に述べられていますが、大学は厳しい財政状況下の中にあるけれども、教育環境の整備充実が大学発展の条件であるとし、それらの事業資金の助として「教育振興資金」の募金活動を行いたい。については、理解と協力をお願いしたいとの内容でありました。

本同窓会理事会において、「募金協力の件」について協議した結果、母校発展の一助になると理解し、募金の趣旨に全面的に賛同する形を承りました。つきましては、会員各位におかれましては、誠しに経済環境にあるとは存じますが募金の趣旨に深い理解をいただき、出来る限りで結構ですのでご協力いただきたくお願い申し上げる次第です。

平成11年10月

名古屋学院大学同窓会会長 古部一

同窓会の理事・監事が下記のように選任されました。

1999年度 名古屋学院大学同窓会 理事・監事

理事	占部一	71E	会長	東邦アストリー(株)
理事	山木茂一	70E	副会長	名古屋車輪(株)
理事	伊藤博義	70E	副会長	凸版印刷(株)
理事	塙本久	70E		愛知県議会議員
理事	長瀬憲八郎	71E	事務局長	古川設備工事(株)
理事	下村直己	73E	副会長	(株)下栄
理事	笠井修	73E	広報委員長	エーワ織工(株)
理事	山田弘一	76E		山田青果(株)
理事	古川雅章	78E	総務委員長	和興(株)
理事	伊藤暁	77E	支部担当委員長	伊藤製作所
理事	須崎英晴	78E	事業委員長	品野台開発(株)
理事	河本浩司	80E		(有)オトカワモト
理事	安藤之人	80E		丸星商事(株)
監事	水谷文穂	69E		(株)三油商会
監事	生駒豊作	70E		名古屋学院大学

INFORMATION

同窓会事務局 さかえサテライトに移転!



昨年、中口ビル7階の名古屋学院大学、さかえサテライト内に、同窓会室が新しく設置されました。名古屋の中心部に立地するところもあり、日々、同窓生の方々が利用されています。

これに伴い、同窓会事務局も瀬戸より完全に移転いたしました。今後の連絡等は、栄事務局へご報告いただけるようお願い致します。

〒460-0008	移転先
名古屋市中区栄4-1-1	
TEL・FAX	
052-242-6444	
月～金 午後1時～午後6時	

同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催など、さまざまな活動を行っていますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されています。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営に協力頂けるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分（一万円）以上を納入して頂いた方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないこととなります。よび、1997年3月以降の卒業生につきましては卒業時終身会費2万円を徵収し、それ以降の会費を請求しないこととなります。

現在毎年2千円の年会費の請求をさせて頂いておりますが、皆様方も是非この機会に終身会員となつて頂くことをお勧め致します。

なお、1991年3月時点に敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されています。今後、大学をもりたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、しっかりと財源が必要です。など理解の上、「協力賜ります」とお願い申します。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願い致します。

● 年会費 口 2,000円

支部連絡先・活動

各支部では毎年支部会を開催しています。
お問い合わせは左記へお願いします。

● 関東支部

〒334-0067 埼玉県川口市大竹277-1
伊藤忠治（69年卒） TEL 048-296-7092
FAX 048-295-0379

【関東支部・活動報告】

関東支部では、8月7日（土）に総会を行いました。支部活動・会計報告を行った後、母校の元教授柳田先生とともに懇親のひとときを過ごしました。

● 三重支部

〒519-0413 三重県度会郡玉城町妙法寺345-1
中野隆自（71年卒） TEL 0596-558-2191

【三重支部・活動報告】

三重支部では、7月3日（土）に三重支部会を開催しました。当日のイベントとして、母校教授早川厚先生をお招きし、津市中央公民館において文化講演をしていただきました。

同窓会員の皆様ご注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくるようですが、同窓会では一切そのようなことはしておりませんので、気をつけて下さい。

お問い合わせは、8月22日（土）に総会を行いました。

大学より松村入試広報課長・岡本総務課長にも出席いた

【関西支部・活動報告】

〒544-0025 大阪市生野区生野東1-1-37
中川博嗣（68年卒） TEL 06-712-3574
(中川登記測量事務所内)

笠井 修（73年卒）・下村直己（73年卒）
安藤之人（80年卒）

事務局長 長瀬憲八郎（71年卒）
事務局 豊田登志子

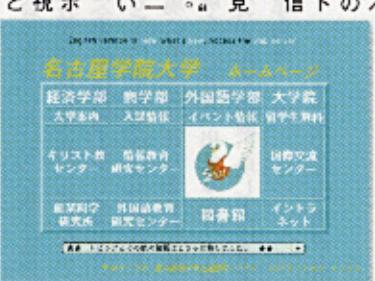
● 中国・四国支部

〒712-8003 国山県倉敷市水島明神町2-46
藤原一政（71年卒） TEL 086-444-5252
TEL（携）090-3175-4504

【中国・四国支部・活動報告】
中国・四国支部では、大学の父母懇談会と併せて支部会を開催しました。大学より学生部長ほか3名の方々に出席いただき、大変有意義な話を伺いました。

3501E, 66TH, AVE, ANCHORAGE, ALASKA, USA
内閣 もう子（76年卒）TEL 906-344-17087

わざわざ見に来りましたか?
名古屋学院大学ホームページ



● ホームページアドレス
(日本語) <http://www.ngu.ac.jp/index.html>
(英語) <http://www.ngu.ac.jp/index-eng.html>